Link

2026（令和8）10月19日
福山市立日吉台小学校
6年学年通信　No.14

本番に向けて…

夏休み明けから音楽発表会の練習を始めて、1ヶ月半が経ちました。6年生は、学年目標を「共鳴」に決めました。「共鳴」とは、「ある音や振動が、別の物体や空間、あるいは聴き手の心に影響を与えて同じように響き合う現象や状態」という意味があります。この目標には、一人一人の声、楽器の音が影響を与え合って最高の演奏を届けたいという思いが込められています。「それぞれの楽器の演奏を完璧にするだけでなく、音を合わせ、心を繋ぎ、最高のハーモニーを届けたい」そんな思いを胸に、練習に取り組んでいます。楽しみにしていてください。

音楽発表会の目標

僕は、音楽発表会で頑張りたいことが二つあります。

一つ目は、目標を意識してやり切ることです。学年目標の「共鳴」や、自分の中の目標である「最後までやり切る」を意識した音楽発表会にしたいです。また、本番だけ意識するのではなく、音楽の授業や自分で練習する時に意識して、良い演奏ができるようにしたいです。

二つ目は、「楽しかった！」「やり切った！」と思える音楽発表会にすることです。小学校最後の音楽発表会なので、しっかり練習して、きれいな声を出したり、迫力のある演奏ができるようにしたいです。また、自分のできていないところが、どうできていないのか、どうしてできないのかを考えていきたいです。

最後の音楽発表会なので、今までで一番楽しくて、最高の音楽発表会にしたいと思います。

一番の音楽発表会

六年間で最後の音楽発表会では、合奏「木星」、合唱「栄光の架橋」、リコーダー奏「キセキ」を演奏します。

そんな音楽発表会の目標は、二つあります。

一つ目は、一生の思い出に残る音楽発表会にすることです。同じメンバーで発表会をすることは二度とないので、悔いの残らない、忘れられないようなものにしたいと思いました。そのためにも、練習をたくさんするのはもちろん、ただ練習するだけでなく家でもメトロノームを使ってリズムをとったり、みんなのペースと合わせられるように心がけようと思います。

二つ目は、みんなと教え合うことです。ゴールは最高の音楽発表会にすることですが、そのゴールに近づく段階では同じ楽器の人同士で教え合いお互いを高め合っていけたらいいなと思っています。また、違う楽器の人とも教え合いたいです。

目標を達成することができるように頑張ります。

下学年をリードして

10月5日（月）2時間目に、フレンドリータイムがありました。今回のフレンドリータイムは、第1回全校レクとして児童会執行部が企画・運営を行い、全校で実施しました。目的は、異学年活動を通して、さまざまな人との関わり方を学ぶ機会にすること、上級生としての自覚を持ち、実践をリードしたりサポートしたりすることで、協力して運営していく方法を身につけることです。

全校レクでは、進化じゃんけんとグループ作りをしました。進化じゃんけんでは、同じ生き物同士でじゃんけんをして勝ったら、「たまご」「ひよこ」「かえる」「さる」「人間」の順番で進化できるというものです。低学年の子に声を掛け、じゃんけんをするなどして交流する姿が見られました。また、グループ作りでは、「好きな季節」などのお題に合わせて、同じものを選んだ人同士でグループを作り、そのグループ内で自己紹介をしました。同じグループの人を探している人に声を掛けたり、自己紹介の時に拍手をして他学年が言いやすいような環境を作ったりして、下学年をリードする姿をたくさん見ることができました。

今後も下学年の手本となり、リードする姿をたくさん見せてほしいと思います。